

榕樹

字ヲ補フベシ、然レドモ全文ニハアラズ、又コ、ニ、廣東新語ヲ引テ、波羅樹ヲ婆羅樹ニ作ルハ誤ナリ、

一種アコウト呼モノアリ、アコギトモ云、暖國ニ自生アリ、葉ノ形冬青ニ似テ濶大ニシテ厚ク缺刻ナシ、夏月枝間ニ花ナクシテ實ヲ結ブ、大サ無患子ノ如クシテ内ニ細子アリ、枝上ニ根ヲ生ジ、下垂シテ土中ニ入ル、コレ廣東新語ノ榕ナリ、コノ樹甚寒氣ヲ畏ル、然レドモ扞シテ能ク活ス、倒ニ插スモ亦活ス、故ニ廣東新語ニ、以枝爲根、復以根爲枝、一名倒生樹ト云、阿州小松島浦辨天山ニ多シ、

〔草木性譜人〕榕樹

南土の産にして寒を畏る、冬暖室に藏むべし、其葉深緑光澤あり、冬凋落す、夏枝頭より新葉を生じ、即其枝長ず、夏中稀に花あらずして、枝條に數果を發すること忽然たり、其色初青緑白點あり、深秋に至て熟すれば、紅紫色黄點、果中紫色にして、空虚肉なく全く無花果の如し、枝を折ば白汁出づ、摻插して能活す、偶根上より根を生ず、然れども其土にあらざれば、多く生ずることを得ず、只一二根而已、又がつまる漢名は未詳即其一種にして、南國の産頗る寒を畏る、其性榕樹に相似たり、夏花あらずして枝條に果を生ずること忽然たり、形榕樹の果の如し、摻插して能活す、根上及び枝間より根を生ず、榕の根より生じ易きといへども、其土にあらざれば長じがたし、

〔本草一家言〕榕 薩州鹿子島有之郷名阿古、其樹經久則極高大、葉似讓葉而濶大厚、滑無鋸齒、其枝下垂著地、即生根、蓋數十株、相連絡而成林、伐其根盤、沃以米泔水、淹以草薦、日久而生菌、呼阿古不奈波奈波、蓋諸菌通稱也、日乾以寄遠爲珍、與香蕈松蕈並稱爲菌中上品、其樹西北方土絶無之、故世識者希矣、南方所産者會移植之、北方皆不活、地氣寒暖使然也、柳柳州詩榕葉滿庭鶯亂啼、注云、榕城以産榕得名、蓋雖漢土地方亦不偏有、